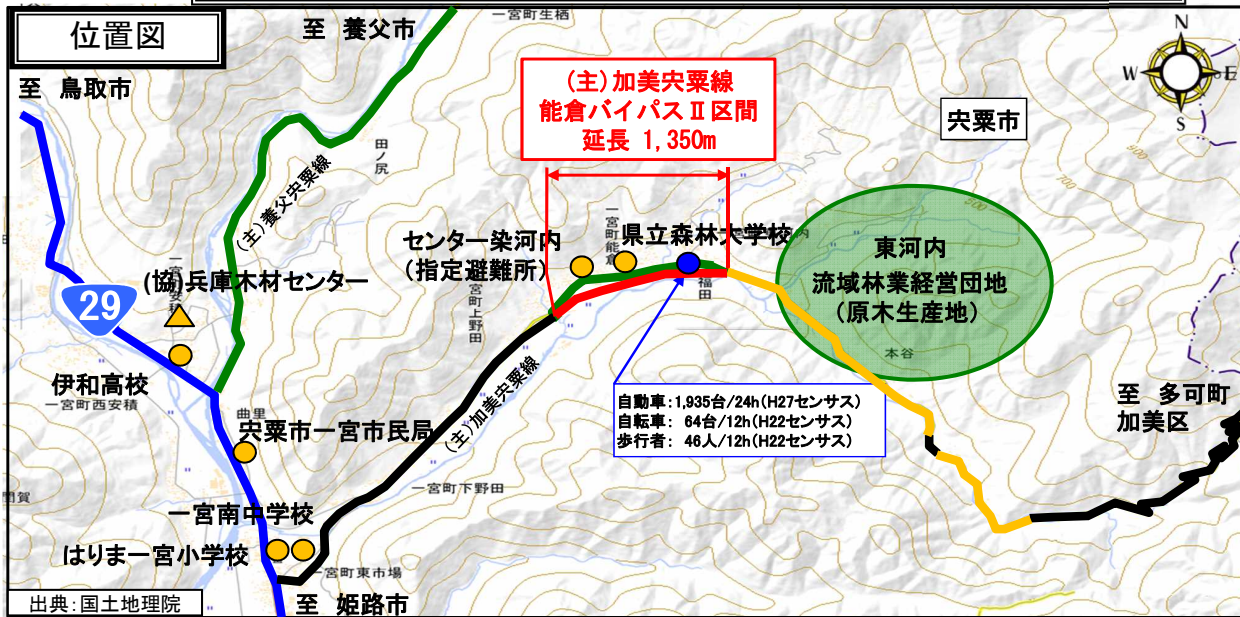
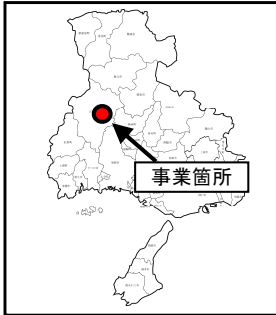


道路事業 主要地方道 加美宍粟線〔能倉バイパスⅡ〕



- 凡例
- 国道
 - 県道
 - 事業区間
 - 整備済区間
 - 未整備区間
 - 公共施設、学校等
 - 交通量調査地点



事業概要

事業区間：よくら ひがしごうち 宍粟市一宮町能倉～東河内
 総事業費：5.1億円(県負担3.9億円、市負担1.2億円)
 内用地補償費：1.0億円
 事業期間：H31～H35
 事業概要：バイパス
 延長：1,350m
 計画幅員：5.5m(9.5m)
 計画交通量：2,400台/日(H42推計)
 費用便益費B/C:2.3



- 目的
- ① 円滑かつ安全な交通の確保
 - ② 流域林業経営団地(原木生産地)へのアクセス道路の機能強化
- 必要性優先性
- ① 集落内を通る現道が幅員狭小で歩行者も危険であるため、バイパス整備により通過交通を転換する必要がある。
 - ② 東河内流域林業経営団地から協同組合兵庫木材センターへ原木を搬出する大型車のアクセス道路としての機能を強化する必要がある。
 - ③ 地権者全員の用地買収同意書が提出されるなど、事業執行環境が整っている。
 - ④ 先行事業区間の完成に引き続いて事業着手。

工種	年度				
	H31	H32	H33	H34	H35
調査・設計	■				
用地補償		■			
道路改良			■	■	■

現況写真

① 車両の離合が困難



② 歩行者が危険

